

科目ナンバリング		U-LAS03 10009 SB48					
授業科目名 <英訳>	外国文献研究（経・英） B-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Economics, English)B-E1				担当者所属 職名・氏名	経済学研究科 教授 根井 雅弘	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	外国文献研究		使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	水4		配当学年	2回生以上
						対象学生	全学向
[授業の概要・目的]							
この授業は、ケインズとともに20世紀経済学の天才といわれるシュンペーターの経済思想を初期から晩年の作品に至るまで幅広く読み、彼の経済学の全体像を理解することを目標とする。 テキストには、この授業のために私が書いた「英語原典で読むシュンペーター」を用いる。このテキストには、初期から晩年に至るまでの主要作品のエッセンスが詰まっているので、授業の目的にかなうものである。 ワルラスの一般均衡理論から出発したシュンペーターが、ワルラス理論の静態的性格に失望し、マルクスの動態的ヴィジョンに影響されながら、独自の動態の世界を構想するようになる過程が理解できるように懇切丁寧に講義する。 以上によって、単に「イノベーション」という言葉のみで記憶されているシュンペーターの経済思想の内容の多様性を何度も強調したい。							
[到達目標]							
1 シュンペーターの経済思想がどのように形成されたのかを理解すること。 2 企業家のイノベーションを核にした彼の経済発展理論が、晩年に至って、いかに変容していったかを理解すること。 3 シュンペーターと対比される天才経済学者ケインズの経済思想との相違を理解すること。 4 以上によって、専門課程で学ぶ経済学史や現代経済思想の理解が容易になること。							
[授業計画と内容]							
テキスト「英語原典で読むシュンペーター」の構成に準じる。 第1回 イントロダクション 第2回 序章 第3回 「経済発展の理論」日本語版への序文 第4回 「静態」とは何か 第5回 経済発展の根本現象（1） 第6回 経済発展の根本現象（2） 第7回 イノベーションとは何か 第8回 「企業家」とは誰か（1） 第9回 「企業家」とは誰か（2） 第10回 経済はいかに発展するのか 第11回 失われた1章 第12回 ワルラス高評価に隠されたもの 第13回 資本主義をどのように捉えるか 第14回 ケインズへの尊敬と羨望 第15回 まとめ							
						外国文献研究（経・英）B-E1(2)へ続く↓↓↓	

外国文献研究（経・英） B-E1(2)

[履修要件]

シュンペーターの英文は比較的長めで、必ずしも読みやすいとは言えない。この英文と根気よく付き合い、予習・復習を欠かさないこと。それをしなければ、単位を取ることは難しいと思われる。

経済学史の知識があれば、理解は容易になるので、各自、自発的に学習すること。

[成績評価の方法・観点]

平常点（授業への出席50点）と数回行う小テスト（50点）の成績によって評価する。
シュンペーターの経済思想を的確に理解しなければ、単なる英語の知識だけでは合格点には達しないので注意が必要である。

[教科書]

根井雅弘『英語原典で読むシュンペーター』（白水社,2021年）ISBN:978-4-560-09820-2

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業に出る前に必ずテキストを予習することが望ましい。

任意に出席者に質問するので、一度も答えられない場合は単位を取ることが難しい。

[その他（オフィスアワー等）]

履修者と相談して決める。